

安全研だより

全国学校安全教育研究会 会報 NO2
東京都学校安全教育研究会 会報 NO37

平成25年2月

発行 全国学校安全教育研究会
会長 矢崎 良明
事務局 東京都板橋区立
志村第一小学校



安全教育(防災教育)の指導時間の確保へ

全国学校安全教育研究会会長

東京都板橋区立志村第一小学校長 矢崎 良明

東日本大震災からまもなく2年が経とうとしています。文部科学省をはじめ各自治体、学校では防災マニュアルの改訂や防災教育の充実に向けて取り組んでいることと思います。文部科学省の「東日本大震災を受けた防災教育・防災管理等に関する有識者会議」や「中央教育審議会学校安全部会」では、防災教育の内容や指導方法、指導時間の確保などについて、議論がなされました。これまでも様々な関係機関や学校現場で防災教育の資料が出されています。また、大きな災害や事件が起こるたびに検討会が設置され、通知や資料が学校に配布されてきました。しかし、それらはあまり活用されていません。それらを活用できるほど、指導する時間が確保されていないのです。小学校学習指導要領や、幼稚園教育要領では安全に関する指導を適切に行うことや、理解を深めるようにすることがと述べられているが、具体的な指導の時間や指導時間数などについては触れていません。各学校での指導に任されているのが現状である。

日本の国土は世界の陸地の面積のわずか0.25%ぐらいしかないのに、大地震の約20%は日本で起きています。このことを関係者は改めて認識し、日本の教育の特徴として教科等に位置づけるなど安全について系統的に指導する時間を確保することを検討する必要があります。

学校教育で指導する内容が増加する中で、容易ではありませんが、自然災害の多い日本にあっては、教育全体の課題であることを重視し、世界に誇る先進的な安全教育(防災教育)の充実を検討していくことは重要な課題と言ってよいのではないのでしょうか。

今こそ安全教育を



東京都学校安全教育研究会会長

葛飾区立花の木小学校長 井口 信二

東日本大震災から1ヵ月半経った頃、東北新幹線の再開に合わせ、本研究会の役員5名で仙台市宮城野区の3つの小学校と名取市閑上地区を視察しました。駅ビル

や周辺のビルを修理している様子が見られましたが中心地は平常でした。

翌日、市内3校の小学校を視察させていただき、校長先生から地震直後から学校再開までの様子をお聞きしました。3校に共通していることは、地震の揺れと同時に電気機器や通信手段が全て使用不可能となったこと、児童を避難させた後、保護者への引き渡しと並行して避難所を開設して地域住民の受け入れを行わなければならなかったことです。避難所の運営にあたっては、2校は地域住民が中心になったので、教職員は児童への対応や学校再開に向けての準備等の業務に専念することができたとのことです。一方、教職員が中心となって避難所を運営した学校では、教職員の身体的・精神的な疲労はかなりのものであったということです。

東日本大震災後、安全教育とりわけ防災教育への関心は高まっています。昨年度開かれた第36回全国全国・東京都学校安全教育研究大会では、全国からおよそ650名に及ぶ学校関係者の参加がありました。各学校においては、これまでの防災マニュアルや学校危機管理計画の見直しを進められていると思います。さらに、子供が実際に危機に直面した時に、自ら考え判断して行動し、自分で自分の身を守ることができるように、学校教育において「安全教育にかける時間」の確保の必要性も叫ばれています。

本研究会では、全国の学校や関係諸機関と連携して、防災教育はもちろんのこと、安全教育全般の充実を図っていきます。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

避難訓練の見直し(緊急地震速報の報知音を使った避難訓練)

(1) 今までの避難訓練とその問題点

① 今までの避難訓練

1. 放送機械に設置されている緊急放送のサイレン「ウー」を鳴らす
2. 「避難訓練。地震です。皆さんは机の下に隠れましょう」
3. 各教室で子どもは机の下に隠れる
4. 「ゆれが収まったようです。」「校庭に避難しましょう」

② 問題点

- ・実際の地震では、放送する前に揺れがきている。
- ・廊下、階段、トイレ、特別教室など、机がない場所にいることもある。
- ・いつも校庭に避難できるとは限らない。台風のとくに地震が起こる場合もある。いつも「校庭に避難」という訓練では実際に即さない場合がある。耐震化された校舎であれば、校舎が倒壊することはまず想定しなくてよいのではないか。

(2) 緊急地震速報の報知音を利用した避難訓練

今までの避難訓練を改善して、子どもが「自ら危険を予測し、回避できる能力をそだてる」避難訓練を実施する。合言葉は「落ちてこない」「倒れてこない」である。すなわち、どこにいても地震の揺れを感じたら子供が自ら「上から物が落ちてこない場所」「横から物が倒れてこない場所」にすばやく身を寄せることである。

① 緊急地震速報の報知音を利用した訓練の実際

1. 放送で、緊急地震速報のサイン音「ティロンティロン」を流す。(続いて地震の効果音を流すと臨場感がある)
2. 子どもは、どの場所においても、瞬時に「落ちてこない」「倒れてこない」場所を探し、その場に身を寄せる。
3. 揺れがおさまったら、子どもの安全確認をする。(そのときの状況に応じて、教室または校庭に集合する。)

② 緊急地震速報の報知音による避難訓練の効果

- ア. 子どもがどのような状況においても「落ちてこない」「倒れてこない」場所を瞬時に判断し、安全を確保する能力が身につく。
- イ. 緊急地震速報は、学校のみでなく、家庭や外出先でも応用されている。いつでも身をを守る習慣がつく。
- ウ. 震源が近い場合は、緊急地震速報のサイン音より地震の揺れの方が先にくる場合がある。しかし、後からサイン音を聞いたとしても、不安が解消されるのに効果がある。
- エ. この訓練を繰り返すことにより、緊急地震速報が鳴らなくても、地震の揺れを感じた瞬間に避難行動がとれるようになる。

この訓練で大切なのは、緊急地震速報を利用することではなく、子どもが報知音や揺れを感じたときにすぐに自ら進んで身をを守る習慣がつくことである。いつでもどこにいても、自分で判断して危険を回避する能力を付けることである。



「犯罪も忘れたころにやってくる」 大阪教育大学附属池田小学校事件の検証と対策

平成 13 年(2001 年)6 月 8 日。全国の学校がかつて経験したことのない、最悪の事件がおこりました。大阪教育大学附属池田小学校に刃物を持った男が侵入し、1 年生と 2 年生 8 名の尊い命が奪われた事件です。あれからまもなく 12 年になります。

1. 事件の概要

平成 13 年(2001 年)6 月 8 日(金)午前 10 時過ぎごろ、犯人(宅間守 38 歳)は、東門から出刃包丁と文化包丁を持って小学校の敷地内に入った。1 階の教室に次々に侵入し、児童を出刃包丁で突き刺し、切りつけ児童 8 名が死亡し、児童 13 名、教員 2 名の計 15 名が負傷した。



2. 事件の教訓と学校の対応

(1) 門、玄関などの出入り口の管理

犯人は、閉まっていた正門を通り越し、開いていた東門より侵入しました。犯人は公判で「門が閉まっていたら入らなかったかもしれない」という趣旨のことを言っています。この事件以来、全国各学校では、門の管理に気を使ってきました。しかし、未だに、門や玄関の扉が常に開いている学校があります。ぜひ、「門は閉めておくことを常にする」を最低限実行してほしいです。

(2) 来校者への声かけ

この事件で、教諭が門に入って少しした所で犯人とすれちがっています。教諭は軽く会釈したが犯人は会釈をしませんでした。教諭が不審に思い声をかけていたら、犯人は引き返したかもしれません。「どちら様ですか?」「ご用件は承っていますか?」と積極的に声をかけることが大切です。来校者に失礼ではなく、むしろ、この学校は安全に配慮していると評価されるのです。

(3) 教員不在の中での犯行

犯人はまず担任不在の 2 年生の教室に侵入しました。この教室では 5 名の児童を突き刺し殺害しました。次に隣接する別の 2 年生の教室に後方のテラスから侵入しました。それに気づいた担任は、警察に通報するために廊下に出て事務室に向かいました。教員が不在となった教室では、犯人が児童を追いかけまわし 5 名の児童を突き刺し、1 名を殺害しました。この二つの教室では、教員が不在の中で、犯行が行われました。

2. 不審者を侵入させない

「不審者が侵入したらどうするか」ではなく「不審者を侵入させないためにはどうするか」の対策が重要です。凶器を持った不審者が侵入したら、負傷者が出る確率が大きくなります。もっとも重要なのは、出入り口の管理です。門や玄関をオートロックにしたり、ガードマンを常駐させたりなどの対策が講じられればよいですが、現在の学校でできる最大限の対策を考えましょう。

- ・ 受付をできる限り校舎の入り口に近いところに設置し、出入りのチェックを厳しくする。
- ・ 訪問相手を聞き、相手が玄関まで来て、来校者を確認してから校舎内に入れる。
- ・ 門にインターホンを設置し、受付員が門を開ける。
- ・ 防犯カメラを設置し、常時監視する。

事件からまもなく 12 年。二度とこのような事件が起きないように各学校の対策を改めて見直す機会にしてほしいものです。

平成 24 年度 全国学校安全教育研究会 役員名簿

役 職	氏 名	所 属	役 職	氏 名	所 属
会 長	矢崎 良明	東京・板橋区立高島第一小学校	事務局員	池田 實	
副会長	黒澤 聡子	東京・江東区立ちどり幼稚園	事務局員	矢萩 恵一	学校安全教育研究所事務局長
副会長	木次 勝義	島根・出雲市立湖陵幼稚園	事務局員	沢田 明	東京・文京区教育委員会

副会長	長岡 佳孝	山形・天童市立高揃小学校	事務局員	芳森 信夫	東京・板橋区教育委員会
副会長	永松 勝	埼玉・幸手市立幸手小学校	事務局員	澤野 明夫	さいたま市立土合公民館
副会長	山崎 正己	東京・都立桜町高校	会 計	渡部佳代子	東京・江東区立みどり幼稚園
事務局長	永山 満義	世田谷区立塚戸小学校	監 事	本間 和久	東京・足立区立江北小学校

平成24年度 東京都学校安全教育研究会 役員名簿

役 職	氏 名	所 属	役 職	氏 名	所 属
会 長	井口 信二	葛飾区立花の木小学校	研究副部長	伊藤 進	大田区立入新井第一小学校
副会長	桶田ゆかり	文京区立明化幼稚園	同	津田 昌明	荒川区立第二峡田小学校
同	牛島三重子	台東区立金竜小学校	同	西原 洋一	品川区立御殿山小学校
同	山崎 正己	都立桜町高等学	同	松本 麻巳	足立区立鹿浜第一小学校
事務局長	平松有里子	世田谷区立祖師谷小学校	同	竹下 君枝	都立新宿山吹高等学校
次 長	川田 辰男	板橋区立志村第三小学校	同	原 洋子	文京区立誠之小学校
同	鳥塚 恵子	文京区立根津幼稚園	同	濱田 良平	世田谷区立桜小学校
同	三浦 博文	板橋区立高島第五小学校	広報部長	津布久郁夫	足立区立江北小学校
研究部長	原野 隆	板橋区立緑小学校	副部長	濱脇 哲也	板橋区立蓮根小学校
副部長	高野 富	西東京市立保谷第二小学校	同	下田美穂子	文京区立窪町小学校
同	黒澤 聡子	江東区立ちどり幼稚園	会計部長	渡部佳代子	江東区立みどり幼稚園
同	飯塚 慶子	足立区立本宿こども園	副部長	山元 敬子	世田谷区立松原小学校
同	富田美穂子	足立区立花畑西小学校	監 事	本間 和久	足立区立江北小学校
同	角田 茂隆	足立区立五反野小学校			

平成24年度 全国学校・東京都学校安全教育研究会 顧問名簿

1	石井 善一(故)	8	桧山 克美	15	伊東 英明	22	林 正樹
2	三枝源一郎(故)	9	笠原 恒雄	16	宇津木順一	23	米山 和道
3	磯崎 乙彦	10	樋 喆男	17	諸藤 登(故)	24	小林 元子
4	村田 績雄	11	黒瀬 忠生	18	清水 豊	25	矢萩 恵一
5	小嶋 孝夫	12	古川 絢子	19	岩切 玲子	26	沢田 明
6	大竹 章喜	13	川邊 重彦	20	久富美智子	27	芳森 信夫
7	木下 靖正	14	四十九院公洋	21	池田 實		